

いっぱん しゃだん ほうじん) にほん ごむ こうぎょうかい ぎのうひょうかしけん しけんいんかい へん
 Ippan shadan hojin) nihon gomu kogyokai ginohyokashiken shikeniinkai hen
 いっぱん しゃだん ほうじん) にほん ごむ こうぎょうかい ぎのうひょうかしけん しけんもんだい
 Ippan shadan hojin) nihon gomu kogyokai ginohyokashiken shikemmondai
 ごむ せいひん せいぞう しょくしゅ ふくごうせきそう かこう さぎょう (べると)
 Gomu seihin seizo shokushu Fukugo sekiso Kako sagyo (beruto)
 がっかしけん (しょきゅう)
 Gakka shiken (Shokyu)

じゅけんばんごう Juken Bango

1. しけんじかん (Shiken Jikan) 1じかん／60ぶん (1 Jikan / 60 pun)
2. もんだいすう (Mondaisu) 20もん (20 mon)
3. ちゅうい (Chui)

(1) しけんもんだいには じゅけんばんごうを、かいとうようしには じゅけんばんごうとなまえを かきなさい。

Shiken mondai niwa juken bango o, kaito yoshi niwa juken bango to namae o kakinasai.

(2) もんだいは かかりのひとがよみます。そのとき、もんだいぶんやえをよくみていなさい。

Mondai wa kakari no hito ga yomimasu. sonotoki, mondaibun ya e o yokumite inasai.

(3) こたえは ただしいまたはあやまりのどちらかです。こたえかたは かいとうようしに かいとうれいのようにかきなさい。

ト

① こたえが ただしいとおもうばあい、ただしいのらんにまるをかきなさい。

Kotae ga tadashii to omo baai, tadashii no ran ni maru o kakinasai.

② こたえがあやまりとおもうばあい、あやまりのらんにまるをかきなさい。

Kotae ga ayamari to omo baai, ayamari no ran ni maru o kakinasai.

(4) わからないことがあったら、てをあげて かりのひとにききなさい。

Wakaranaikoto ga attara, te o agete kakari no hito ni kikinasai.

(5) かいとうようしの ※の ところには 書いてはいけません。

Kaitoyoshi no ※no tokoro niwa kaite wa ikemasen.

かいとうれい (Kaito rei)

【かいとうらん (Kaitoran)】1-10

もんだいのばんごう (Mondai no bango)	こたえ (Kotae)	
	ただしい (Tadashii)	あやまり (Ayamari)
1	○	
2		○

1. ごむは あついおゆの なかに いれると とける。

Gomu wa atsui oyu no naka ni ireruto tokeru.

2. きの じゅえきから つくる ごむは、ごうせいごむ です。

Ki no jueki kara tsukuru gomu wa, gouseigomu desu.

3. ひを つかう ところに ざいりょうを ほかんしては いけない。

Hi o tsukau tokoro ni zairyo o hokan shitewa ikenai.

4. てんねんごむは、おもに たいやの ざいりょうに つかわれる。

Tennen gomu wa, omo ni taiya no zairyo ni tsukawareru.

5. ぼーる せいひんは、せいけいかこうで つくられる。

Boru seihin wa, seikei kako de tsukurareru.

6. せつびが いつもと ちがう じょうたいの ときは、じょうしに ほうこくする。

Setsubi ga itsumoto chigau jotai no toki wa, joshi ni hokoku suru.

7. きかいを きどう するときは、まわりに ひとが いないことを かくにん しなければ いけない。

Kikai o kido surutoki wa, mawari ni hito ga inaikoto o kakunin shinakereba ikenai.

8. あんぜんそちの てんけんは、まいにち やらなくても よい。

Anzen sochi no tenken wa, mainichi yaranakutemo yoi.

9. さぎょうばが きたなくても、さぎょうが できれば もんだい ない。

Sagyoba ga kitanakutemo, sagyo ga dekireba mondai nai.

10. いじょうが おきたときは、「とめる、よぶ、まつ」を かならず おこなう。

Ijo ga okitatoki wa, 「tomeru, yobu, matsu」 o kanarazu okonau.

11. さぎょうを するところは、はしっては いけない。

Sagyo o surutokoro wa, hashitte wa ikenai.

12. たいちょうが わるいときは じょうしに ほうこく する。

Taicho ga waruitoki wa joshi ni hokoku suru.

13. ゆかに おちた ざいりょうを ひろって そのまま せいけいを した。

Yuka ni ochita zairyo o hirotte sonomama seikei o shita.

14. いぶつふりょうとは、くうきが はいっていること です。

Ibutsu furyo towa, kuki ga haitteiru koto desu.

15. すんぼう そくてい じぐの すけーるが みえないので つかわなかった。

Sumpo sokutei jigu no sukeru ga mienai node tsukawanakatta.

16. ふくごうせきそうかこうは、 ことなる ざいりょうを かさねて かたちにする もの です。

Fukugo sekiso kako wa, kotonaru zairyo o kasanete katachi ni suru mono desu.

17. どらむ または しんがねは、 かこうが できれば、 へんけい していても よい。

Doramu mata wa shingane wa, kako ga dekireba, henkei shiteitemo yoi.

18. せっちゃくぶが はがれて いても、 かこうが できれば もんだいは ない。

Setchakubu ga hagarete itemo, kakoga dekireba mondai wa nai.

19. かこうごの べるとの ひょうめに いぶつが ついて いたので、 てで とりのぞいた。

Kakogo no beruto no hyomen ni ibutsu ga tsuite ita node, te de torinozoita.

20. どらむ または しんがねは かたいので はんまーで たたいても よい。

Doramu mata wa shingane wa katai node hamma de tataitemo yoi.